

SENDAI MIYAGINO

Weekly report

No.1060

国際ロータリー第 2520 地区
仙台宮城野ロータリークラブ

例会場/ ホテルメトロポリタン仙台
仙台市青葉区中央 1-1-1 Tel. 022-268-2525
例会日/ 毎木曜日 12:30~13:30
事務所/ ホテルメトロポリタン仙台内
Tel. 022-268-3243 fax 022-268-3296
Email : miyaginorc@dune.ocn.ne.jp
H P : http://www.miyaginorc.jp/

2024-2025年度 通算1269回 第34回例会 2025年6月5日号

クラブテーマ「Challenge for the Evolution」(挑戦しよう、進化のために!)

【本日の例会】

- ◇ 開会点鐘
- 1. ロータリーソング . . . 君が代・奉仕の理想
- 2. ゲスト及びビジター紹介 . . . 親睦委員長
- 3. 会長挨拶 . . . 内藤 茂美 会長
- 4. 幹事報告 . . . 柿沼 岳範 幹事
- 5. ニコニコBOX . . . S・BOX委員長
- 6. 出席報告 . . . 出席委員長
- 7. 卓話 . . .
- 8. ロータリーソング . . . 四つのテスト
- ◇ 閉会点鐘

【会 場】

ホテルメトロポリタン仙台 21階 銀河
例会 12:30~13:30

【本日の卓話】

第1地域行動計画推進リーダー
パストガバナー 菅原 裕典 様
(仙台泉 RC)

【6月の予定】

- 12日(木) 通常例会 卓話: パストガバナー 桑原 茂 様 (塩釜 RC)
- 15日(日) 親睦ゴルフコンペ/富谷カントリークラブ
- 19日(木) 親睦夜間例会「納会」18:30~ ホテルメトロポリタン仙台
- 21~25日 カルガリー国際大会
- 26日(木) 休会

6月のロータリーレート

1ドル=144円

6月のロータリー月間テーマ 「ロータリー親睦活動月間」

5月29日 会長・幹事報告

【29日のゲスト】

(株)チャレンジドジャパン 代表取締役社長
白石 圭太郎 様 (仙台北 RC)
(株)チャレンジドジャパン CJ コンサルユニット エキスパート
西田 いづみ 様

◆佐沼 RC 創立60周年記念式典・祝賀会
ご臨席御礼が届いております

延川会員お誕生日の記念 T シャツを着て
石川会員が例会にご出席されました



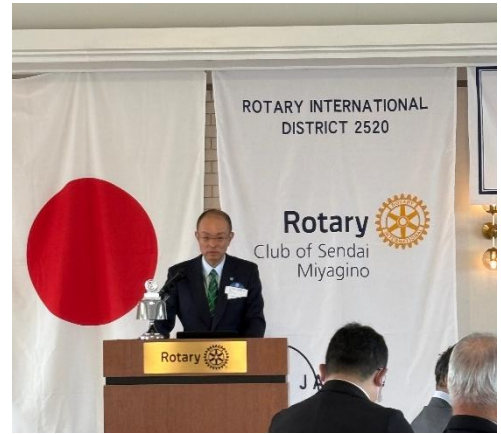
5月29日 ニコニコBOX

- ◆白石 圭太郎 様より、卓話謝礼をご寄付いただきました。
- ◆内藤会長…誕生祝いありがとうございました。66才になりました。トホホ

2025-2026 年度ガバナー
加藤雄彦エレクトようこそ

㈱チャレンジドジャパン 代表取締役社長
白石 圭太郎 様 (仙台北 RC)

「障害者が働きやすい会社は 誰もが働きやすい会社」



宮城県における障害者雇用状況は、雇用率・法定雇用率達成企業の割合ともに、全国と比べて低いのが現状です。そうした中、2025 年 4 月から、宮城県より「障害者雇用マッチング機会創出支援事業」と「宮城県障害者短期離職防止促進事業」を受託しました。

障害者雇用でよくある疑問は、「まずどこから始めるか」「具体的に何をしたら良いのか」「どこに相談すれば良いのか」といったものです。そもそも障害者雇用はなぜ必要なのか？きっかけは何でも良いのですが、私は「障害者を戦力化できる組織は生き残れる」と定義しています。

「障害者＝働きづらさがある」わけではありませんし、「健常者＝誰でも働ける」わけでもありません。障害の有無は、働けるか否かには無関係です。障害があろうとなかろうと、自分らしく生きることは大事です。しかし、働くという点では、単に「自分らしく働く」だけでは足りません。私たちは、自分らしさを活かして会社や社会に貢献する人材を送り出したいと考えています。配慮はしてほしいけれど、配慮したくない、では良くありません。

別の視点になりますが、チャレンジドらいふの「ソーシャルファーム大崎」は、「脱公費」がキーワードの植物工場です。私たちは、障害者施設が農業を始めたのではなく、農業を始めて障害者雇用をしました。稼働開始から 1 年が経過し、様々な課題に直面しています。最初は販路が少なく、生産量をセーブしていました。そのペースに慣れてしまい、増産時には作業が多くて大変だと不満の声が出ました。また、水質の問題や販路拡大、燃料費の高騰など、農業ならではの課題も多く出てきました。

さらに、従業員のマインドチェンジも必要でした。かつて B 型事業所だった頃は、「とにかく来て、あとは休んでいてもいいから」という運営でしたが、今は「働く気がないなら帰ってください」ということもあります。これは「障害者が活躍できないのは障害者のせいではない」ということが実証されたのだと考えています。

就労支援の脱公費は、障害者が「工賃」ではなく「給料」をもらえること、企業は戦力として活用し、人手不足を解消できること、そして社会は、B 型事業所に使用していた社会保障費が圧縮され、もっと支援が必要な人へ活用できるようになる。誰もが Win-Win になる形です。

今後は、障害者雇用を通した「経済合理性の実現」を目指します。企業の「人材不足解消」や「効率化」を支援することで、サービス対価の請求を「公」から「民」へ。障害の有無に関わらず、「すべての人材の戦力化」という付加価値を生み出していきます。

福祉の視点だと、個人（のやりたいことや得意なこと）に目が向きがちですが、大切なのは、社会（組織）の中でどう個人を活かすかを考えることです。「自分にできること（得意なこと）を社会（組織）に活かす」という考え方と実践が重要です。苦手なことはやらなくて良い、それを当たり前と思うのではなく、それをしてってくれる人がいることに感謝する、ということを社会に根付かせたいと思います。